

# 議会だより

No. 120  
2023.4.25 発行

# もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

## 表紙の作品

### 第4回観光協会観光フォトグランプリより

題名「里、花ざかり」  
宿谷地区の春、大好きな里山の風景です。丁度ハイカーの親子さんか…桜と一緒に撮らせて頂きました。

撮影者 中庭妙子さん  
撮影場所 宿谷

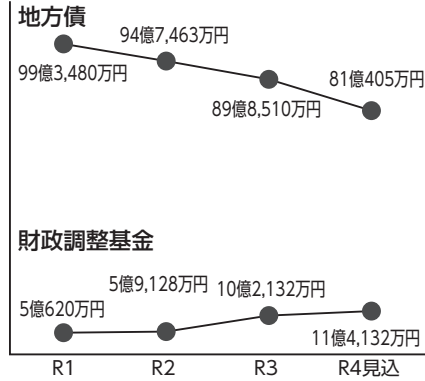
2～3P	令和5年度予算
4～5P	新年度事業・ここが聞きたい
6P	3月議会ではこんなことが決まりました
7～13P	一般質問12人が登壇



# 令和5年度予算が決まる!!

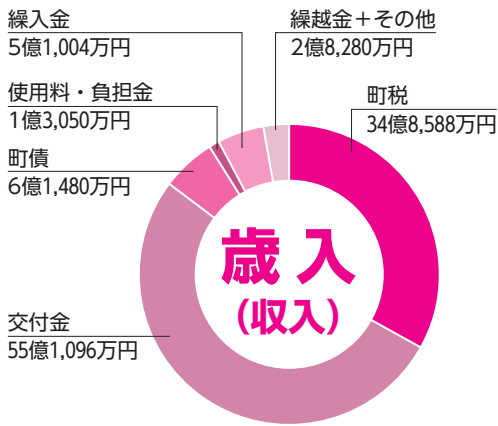
※万円未満切り捨て

<b>一般会計</b>		<b>105億3,500万円</b>	<b>可決</b>
特別会計	国民健康保険特別会計	37億7,834万円	可決
	水道事業会計	12億8,870万円	可決
	農業集落排水事業特別会計	4,105万円	可決
	介護保険特別会計	28億9,487万円	可決
	後期高齢者医療特別会計	5億7,473万円	可決



**総額 191億1,269万円**

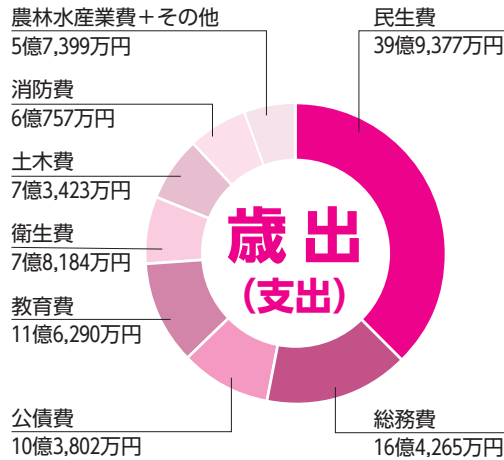
## 一般会計予算の内訳は？



町税	町に納めていただく税金
交付金	国、県の財源から配分されるお金
町債	町が銀行などから借り入れるお金
使用料・負担金	施設の使用料や特定のサービスを受ける人が負担するお金
繰入金	基金に積み立てていたものを取り崩して使用するお金
繰越金+その他	決算上余ったお金で、前年度から繰り越させるお金や町の用地の運用など

※万円未満切り捨て

民生費	子どもや高齢者、障害者などの福祉や医療助成などに使うお金
総務費	全般的な管理事務、徴税、戸籍、選挙、統計や地域づくりに使うお金
公債費	町が借り入れたお金の返済金
教育費	小・中学校の維持管理、給食など教育全般に使うお金
衛生費	健康増進、疾病予防、公衆衛生、ごみの収集などに使うお金
土木費	道路、公園などの建設、整備、維持管理に使うお金
消防費	災害対策や防災などの安全対策に使うお金
農林水産業費+その他	農林水産業・商工業・労働などに使うお金



令和5年3月議会定例会は、3月1日から3月16日までの16日間の会期で開催されました。今議会に提案されました案件は、条例の制定3件、条例の一部改正3件、補正予算5件、当初予算6件、町道の路線の認定1件、諮問1件、報告1件、発議1件、合わせて21件が上程され慎重なる審議をいたしました。一般質問は、議員12名が登壇し、活発な質問が展開されました。

### 地方債

令和4年度末の地方債残高は、借入れを伴う事業の減少により前年度末と比べ8億8,105万円減額しているが、この4年間においても約18億円減少しており、今後も減少傾向が続くことが見込まれる。

### 財政調整基金

年度間における財政調整の役割を持つ財政調整基金の残高については、令和元年度まで減少していたが、令和2年度以降は事業の見直し等により、増加する見込みである。

# 一般会計予算に動議！ 否決

発議者 長瀬 衛 議員  
堀江 快治 議員

議案第12号 令和5年度毛呂山町一般会計予算に対する修正動議

## 提案理由

当初予算105億3,500万円に対し総務費、財産管理費の庁舎外壁改修工事施工管理業務委託料706万2,000円、工事請負費3億3,083万1,000円を削除し、その他予備費で調整し修正とする。庁舎は1980年に建築され42年経過している。令和4年に庁舎外壁に対し打診、赤外線調査を行い、浮きが地下と1階、1548.7㎡のうち、202.7㎡、13.08%、2～5階、2286.2㎡のうち188.89㎡、8.26%、塔屋、311.1㎡のうち23.35㎡、7.5%が検知された。すなわち、地下と1階は87%、2～5階は92%、塔屋は92.5%が安全である為部分改修が妥当と言える。従って1階の部分だけを来年度に早急に部分改修をすべきである。また、赤レンガは町のシンボルでもあり長年町民に親しまれてきた庁舎でもあり残すべきである。以上の理由により、3億3,740万円を減額し、101億9,760万円に修正とする。

## 質疑

**問** 安全面を一番考えて予算を組んでいる町は、専門家の判断の上、安全対策の予防は当然だと思うが。

**答** 改修をしないとは言っていない。緊急ではないと言っている。

**問** 今後40年もたせる中で、部分改修だとその都度足場をかけることになる。トータルすると費用が加算するのではないのか。

**答** 他の自治体の多くも部分改修をしている。

**問** もしタイルが落下した場合の責任は誰がとるのか。

**答** そういう議論をしているつもりはない。

**問** 修正案を出すならば、調査費等の予算を乗せるべきではないのか。

**答** そういう事は執行部が考えるべき。

## 討論

### 修正案賛成

(修正することに賛成)

堀江 快治 議員

今回の庁舎外壁改修事業の工法は、住民の理解が得られる内容とは到底思えない。町当局は、安全面からも計画的な長寿命化対策を実施していくべきである。住民からの貴重な税金は、住民サービス向上のための施策に使うことが当然であり、最小の経費で最大の効果を生み出すことが行政の責任のため修正案に賛成する。

岡野 勉 議員

本町の役場庁舎は、外装が全面タイル張りで近隣自治体に無い重量感ある自慢の庁舎。現在タイルの剝離や強度が心配される部分は13%と言われる。町は全面タイルを引きはがし塗装するというが事業予算が多額であり、町民は部分改修を望んでおり町長及び議会に要望書が提出されている。再検討すべきだ。

### 原案賛成

(修正することなく原案に賛成)

高橋 達夫 議員

庁舎外壁改修事業という大型の普通建設事業については、行政には想定外は許されないという考えを基に毛呂山町公共施設等総合管理計画に基づき、町が今年度専門業者による設計業務委託を実施し、安全性、費用対効果、予防保全から考えたものであり、適切なプロセスを踏まえた上での予算計上であり、この予算案に賛成します。

村田 忠次郎 議員

歳入面では、人口減少の中で町税が前年度比3・4%伸びており、町が財源確保に努力している姿勢として大いに認められるものがあります。歳出面では、来年度から取り組む「健康づくりのまち宣言」に関する事業が数多く計画され、住民一人一人の健康づくりや心と体の健康、温かい地域づくりを期待して賛成いたします。

## 私はこう考える

千葉 三津子 議員

少子高齢化が進行するなか町の課題解決のために、少子化対策、公共施設の長寿命化対策、生活道路の整備、教育環境の充実、子育て世帯に対する経済的支援といった、重要な部分に配慮した予算であり公明党としても評価できる。今後も住民サービス向上のためにご努力を頂きたい。

澤田 巖 議員

町の重要課題である少子化対策や防災対策、子育て世帯への経済的支援などが予算化され充実した予算だ。物価高騰の中、子育て世帯への経済的支援として中学校給食費の負担軽減や子ども医療費支給対象者の年齢拡大など限られた財源の中で多くの新規事業が計上されている。本町が安心安全な町として発展していくことを願う。

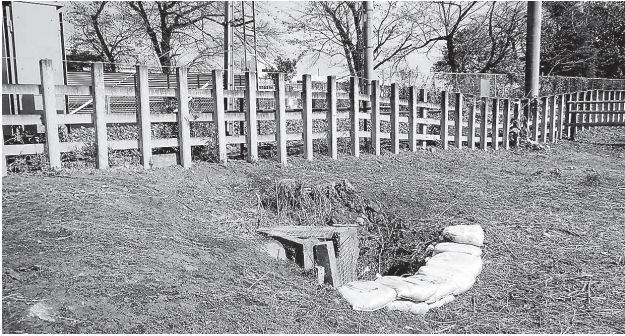
# 【令和5年度予算】

## こんな新規事業が行われます

### 主な事業内容

#### 旭台地区雨水対策調査業務委託 418万円

東武越生線より南側の旭台地区の水害対策の一環として、改善計画の基礎資料とするものです。



#### 健幸づくりのまち関連事業 1,138万8,000円

一人一人が生きがいを持ち、安心して幸せを感じることができるまちづくりの実現を目指します。



#### 庁舎外壁改修事業 3億3,789万3,000円

公共施設個別施設計画に基づき、経年劣化の進んだ庁舎外壁の改修工事を行います。



#### 小中学校特別教室空調設備整備事業 小学校143万6,000円 中学校165万3,000円

近年の異常気象による猛暑への対応として、未整備の特別教室にエアコンを整備します。



#### 川角駅南側駅前広場等概略設計業務委託 640万円

駅南側の駅前広場、アクセス道路、排水ルート等の線形を比較検討し、今後の詳細設計、用地取得、工事等の基礎資料とします。



#### 総合公園体育館屋根及び外壁改修事業 2億2,324万2,000円

経年劣化が進んだ屋根及び外壁の改修工事を行い、体育館外部の長寿命化を図ります。



# 5年度予算 **ココ**が聞きたい!

予算委員会  
4日間集中審議

531項目の質疑あり!

## 庁舎外壁改修工事

Q

庁舎の外壁を3億3000万程度かけて直さなければならぬ危険性というものは、一般的には理解できないが、3億3000万の予算計上について、課として妥当であるという所見をはっきり聞かせていただきたい。

A

現状のままでは、場合によって剥落も懸念される外壁仕上げ材の改修である。庁舎の安定した運用と機能確保を図るために、予防保全の措置を講ずることを目的としている事業だ。今後計画的な維持管理により、庁舎の機能確保と長寿命化の措置を講じながら、公共施設個別施設計画で示す目標年数の築85年を達成していきたい。また、外壁の剥離事故を必ず未然に防ぐことが重要と捉えている。

Q

耐震補強は終わっている。綿密な調査をしたではないか。結果9割は浮いていないというのだから、ひび等は部分改修すればいいではないか。

A

絶対に安全だということではない限りやる必要があると捉えている。

また、これは前にも説明したとおり、長寿命化を図ることと、あと40年以上しっかりとまたせる必要がある。そういったところでは足場をかけて全面改修する必要がある。また、剥落する可能性が少しでもあるのであれば、何よりも絶対的な安全性を考えて直す必要があると捉えている。

Q

## 川角駅南側駅前広場等 概略設計業務委託

この委託料は川角駅周辺地区整備協議会の結果報告書を踏まえて計上したもののか。

A

協議会の結果報告書を受け、それを踏まえて町として予算計上させていただいた。

Q

## 旭台地区雨水対策調査 業務委託

どのような内容の調査か。

A

光山小学校そばの越生線第56号踏切から西側の東武越生線より南側の旭台地区。今後の抜本的な見直しを行うために、本調査業務の委託を計上するもの。

Q

どこから水が出てくるのかが重要。この委託先というのは、非常に専門的知識が必要だと思うが、どういう形で委託業者を選ぶのか。

A

広範囲ということや東武越生線の横断をどうするかということを考えコンサルタントをお願いする予定。

# 3月議会ではこんなことが決まりました。

## 条例改正

### 出産育児一時金が42万円から50万円に



生まれてくる子どものために

出産育児一時金とは、国民健康保険法に基づき国民健康保険の被保険者が出産した際に、出産に係る経済的負担を軽減するため、一定の金額が支給される制度です。

近年、出産費用が年々上昇するなかで、平均的な準備費用を賄えるようにする等の観点から、令和5年4月以降の出産に対し、給付額が増額改定されることが決まりました。

町では出産育児一時金に必要な予算750万円を計上しました。

## 条例改正

### 子ども医療費支給対象者の年齢を15歳から18歳に拡大

子どもの保健の向上と子育て家庭の経済的負担軽減を図り、安心して子育てができる環境を整備するため、現在15歳までとしている子ども医療費の支給対象年齢を令和5年10月1日診療分から18歳までに拡大します。

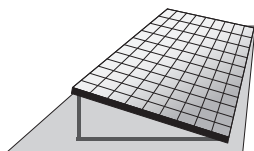
町では子ども医療費拡大に伴う必要な予算7500万円を計上しました。



子育てしやすい環境づくりのために

## 新規条例

### 太陽光発電設備の設置について新規条例を制定しました



適正な設置が求められる太陽光発電設備

近年、全国的に地域住民などに十分な説明がなく太陽光発電設備を設置してしまっている場合や、急斜面などの危険な場所に太陽光発電設備を設置するなど、様々な問題が発生していることから、条例を制定する自治体が増えています。

毛呂山町も令和元年8月より太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを制定し運用していましたが、町における太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理などに関し必要な事項を定め、町民の生命・財産の保護と良好な環境及び景観の保全を図ることを目的に条例が制定されました。

#### 条例の主な内容

##### 対象となる太陽光発電設備

建物の屋根や屋上に設置するものは除いた出力の合計が10kW以上の太陽光発電設備。

##### 設置制限

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域内への設置は制限により行えません。

その他の区域については、関係法令を遵守すること。

##### 地域住民等への説明・協定の締結

事業者は事業計画の内容を地域住民等に説明し理解を得られるよう努めること。

地域住民等から協定の締結を求められたときは、事業者は事業区域を含む行政区及び事業者区域が境界付近の場合は、隣接する行政区と協定を締結しなければならない。

##### 条例違反の対応

町が指導、助言及び勧告を実施。

町が勧告をしても是正されない場合は、事業者の名称等を公表するとともに、国又は県へ報告します。

この条例は令和5年4月1日施行です。

# ●議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案	議員名													審議結果
	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	高橋達夫	長瀬衛	堀江快治	小峰明雄	
新規条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
当初予算	一般会計	(修正案)	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	議	原案可決
		(原案)	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	
	国民健康保険特別会計	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正予算	水道事業会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計（第8号）、国民健康保険特別会計（第2号）、水道事業会計（第3号）、介護保険特別会計（第2号）、後期高齢者医療特別会計（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町道の路線の認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
人事	人権擁護委員候補者の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
発議	議会の個人情報の保護に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

## 一般質問 町政を問う! ~12名が登壇~

●スマートシティ事業の説明責任  
堀江 快治

●定住促進と公共交通  
●学校教育  
●子育て環境  
●森林環境譲与税  
下田 泰章

●庁舎外壁レンガタイル改修  
●立地適正化計画の進捗  
長瀬 衛

●町民のための循環バス  
●今後の学校給食  
●校則の在り方  
千葉三津子

●川角駅周辺整備事業  
●毛呂山町将来構想  
佐藤 秀樹

●公園の整備  
●高齢者施策  
荒木かおる

●町が訴えられている裁判  
●川角駅周辺整備事業の進捗状況  
高橋 達夫

●町づくり  
●高速道路の看板  
●教育  
●物価高騰  
平野 隆

●少子化対策  
●河川等の汚染対策  
澤田 巖

●国民健康保険  
牧瀬 明

●「健幸のまちづくり宣言」に関して  
●財政面から見て4小学校を残せるのか  
●児童館は、毛呂山中学校区にも設置すべきではないか  
村田忠次郎

●教育・子育て環境の充実  
●定住促進施策  
●住民の移動手段の確保  
小峰 明雄

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を本人が編集しています。

## 今後の目白台地区に対する町の考え方は！

### 答 都市機能の誘導を図り、利便性の向上を推進する



堀江 快治

地域情報写真サービスの実装、もろやま創成舎の設立等。

結果として自動運転バスが走らなくなったことに対して住民にどの様な形で説明したのか。

実証実験を行った目白台地区で意見交換をおこなった。

自動運転バスが破綻したことに對して町の総括は。

技術的には成功したが、運営や経済性等に課題があった。

創成舎の現状と成果は。

ふるさと納税の推進やビジネスコンテストを実施した。

貴重な公金を支出しているビジネスコンテストの評価は。

期待できる事業もあるが、計画変更の事業がでていゝるのも事実である。

自動運転バスは、町の政策として大型商業施設の進出とセプトになったスマートシティ事業の一丁目一番地ではなかったのか。

経済性等に課題があったため中止となったもの。今後ネットワークの強化を検討していく。

飛地市街地である目白台地区の今後については。

スマートシティ事業の中でモビリティの検討を続けて行く。

目白台地区に対してはスマートシティ事業だけでなく、子どもや高齢者を守る観点からも町独自でしっかりと対策を進めてもらいたい。

今後も公園整備やコミユニティづくりなど、町としてしっかりと対応していきたい。

## 発想の転換で転出抑制を！

### 答 調査研究を行う



下田 泰章

町から移転したいと思う理由のアンケート結果で、40代以下の世代約3割の方が電車やバスの便が悪く通勤・通学に不便を感じている結果である。その

要因として東武東上線と東武越生線の終電時刻にズレが生じているため若い世代は利便性のよい東上線沿線に転居する傾向にある。もろバスを坂戸駅の終電時刻に合わせて、夜間デマンド方式で、川角駅・武州長瀬駅・東毛呂駅を経由し運行することで、若年層世代の転出抑制策に繋がるのではないかと。民間事業者と行政の役割な

どを考慮し調査研究して参る。

**学校教育**  
 全4回の小・中学校あり方検討委員会が終了した。計画案はいつ町民に周知するのか。

今年の秋頃には周知や説明会を開催できるように努める。

令和5年度より女子制服のある全ての県立高校で女子用スラックスの選択が可能となった。中学生においても対応が必要ではないかと。

LGBTQに配慮すると同時に、寒さ対策や自転車通学などにおいて動きやすく機能的でもある。検討を進めていく。

**子育て環境**  
 ファミリーサポート事業の利用者目線に立った時にサポート会員の顔写真や簡単なプロフィールが公開されると、さらに利用率が向上するのではないかと。

情報を公開することにより、安心して事業を活用して頂けると考える。サポート会員の意向を伺いながら情報公開を進めて参る。

**森林環境譲与税**  
 歳入確保には流域の自治体に働きかけが必要。事業の提案を考える。



夜間運行で転出抑制を



町の飛地市街地である目白台地区



## 庁舎外壁タイル「浮き」以外の90%をなぜ、撤去する

### 答 利用者の安全確保と経済性等から全面改修する



長瀬 衛

密な調査を実施したのか。

答 赤外線により調べた。

問 調査結果で白華、ヒビ部分に「浮き」はない。一般的に全面ではなく部分改修だ。地階と1階、2階、5階の「浮き割合」は。

答 地階と1階部分は12・6%、2階～5階部分は8%である。

問 毛呂山町を前進させるために立地適正化計画の果たす役割

は大きい。都市機能誘導施設を積極的に進め、北部、中部、西部、東部の町づくりの課題を一步一歩解決していくことに尽きる。毛呂駅周辺や長瀬駅商店街等の疲弊ぶりは目を覆うばかりであり、子育て世代が中心の目白台地区では、都市機能が不足しており、計画通り進んでいない。真剣に取り組むべきだ。目白台地区への誘致を進めているのはどのような施設か。

答 商業の誘致活動である。

問 南部区域では、広域医療の拠点施設への救急車両の通過交通が多く、広域交通軸となる都

市計画道路整備を県に積極的に要望活動を行うことになっているが、なぜ、別の路線を先行しているのか理由がわからない。

具体的な計画決定・整備着手時期について町長には説明責任がある。

問 川越坂戸毛呂山線は大類の交差点が難しい。また、4分団車庫から斜めになるのはおかしいと思っっている。真つすぐきれいにやっただけだかかないと意味がない。圏央道からの方は整備効果が高いと県が言っている。

## 住民の移動手段の利便性向上が重要

### 答 もろバス以外の交通手段確保についても精査検討する



千葉三津子

の交通弱者と言われる方々の買

い物や病院等への日常生活の移動支援や、公共施設への移動利便性向上等を目的に、定期的に見直しを実施し運行を継続して

いる。次期もろバスの方向性についても、住民アンケートで利用意向が高かった定時定路線型の運行を含め検討をしている。

問 郵送などでのアンケート調査や多くの方の意見を確認され

たようだが調査内容を伺う。

4月から5年3月までの1年間、国の地方創生臨時交付金を財源に無償化になったが、今後はどのように取り組まれるのか伺う。

問 もろバスだけでは全ての移動ニーズに対応することが難しいとの事だが、今後どのように検討を進めて行くのか伺う。

答 行政が実施できる範囲と民間等に担ってもらう範囲など役割や連携手法などを協議・検討していくことが重要と考える。

問 学校給食は、成長する児童生徒にとって栄養バランスに優れた重要な「食」だ。令和4年

問 本町の小中学校の校則は社会環境や児童生徒の状況の変化に合わせ見直し等が重要だと思っっているが、

児童生徒の実情、保護者の考え方、時代の進展を踏まえ必要に応じて見直す。



更なる利便性向上で住民サービスを



町民等は利用しない屋上に建つ2階～5階部分の庁舎の外壁

## 川角駅設計業務の詳細は

### 答 概略設計業務委託料640万円計上



佐藤 秀樹

概略設計委託の詳細は。

川角駅南側の駅前広場やア  
クセス道路、雨水排水ルート  
の線形を比較検討し最適案を選  
定する予定。

の沿道を有効活用する政策は重  
要と思うが。

地域の特性や必要に合わせ  
て整備手法を検討する。

#### 毛呂山町将来構想

社会資本整備総合交付金を  
活用するのであれば毛呂駅から  
埼玉医大に向かう商店街、武州  
長瀬駅周辺団地の再開発など毛  
呂山町全体の将来構想を打ち出  
し今こそ計画を見直す時期だと  
思うが如何か。

これまでの取組について評  
価検証を行った上で適切に見直  
しを行っていく。

川角駅周辺は市街化調整区

域のまま賑いの場を創出す  
るのであれば、新しい道路  
の沿道にキッチンカーを並  
べたり、可動式の店舗を用  
意する事や、埼玉医大、城  
西大学、日本医療科学大学、  
明海大学と一緒に医療  
エリアを作るなど斬新な  
アイデアを募って企画すべ  
きと思うが如何か。

市街化編入を進めるに  
は財政的に余裕がある事が  
必要であり難しい。市街化  
調整区域のまま、建築制限  
を解除する手法を検討して  
参る。

にし、鋭意検討して参る。  
群馬県前橋市で運営さ  
れる「デイサービスこぐれ  
学園」は利用者が生徒にな  
る学校形式を取り入れた  
「学びの場」であることが  
特徴。ご所見は。

## 幼児も高齢者も集える公園に

### 答 公園整備のあり方を研究して参る



荒木かおる

公園は利用者の憩いや安ら  
ぎの場であり地域の皆様の交流  
の場。子育ての場として大きな  
役割がある。高齢者を含む大人  
たちが心身の健康を図る事がで

きる場所。遊具やベンチの設置  
が必要。

身近な地域公園こそ高齢者  
の方々が気軽に利用できるベン  
チなどは必要な施設と考える。  
町としては、「健幸づくりのま  
ちもろやま」の推進を図るとも  
に地域公園の役割を果たすた  
めに有効な施設の整備など、今  
後の公園整備のあり方を研究し  
て参る。

#### 高齢者施策

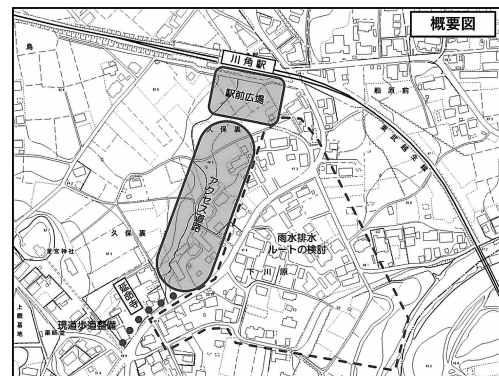
他の自治体は、自治会等、  
身近な場で、買い物支援やゴミ  
出しなどのお手伝いを行った際  
にポイントを付与し、ポイント  
がたまると、商品券や施設の優  
待券等と交換できる制度を導入  
しているが如何か。

多くの高齢者の方々に生き  
がいを感じながらボランティア  
活動に参加して頂けるよう社会  
参加の機会を増やしていくこと  
は、介護予防と健康寿命の延伸  
に大きな効果が期待できる。ポ  
ランティアポイントの付与につ  
いて他の自治体の事例等も参考

「こぐれ学園」につい  
ては、各方面から注目を集  
めており、本町でも興味を  
持っている。介護保険サー  
ビス事業者の集まる部会な  
どで、このような先進的な  
取組について、積極的に情  
報提供に努めて参る。



幼児も高齢者も憩いの場となる公園整備を



期待をする川角駅周辺整備事業

## 町が訴えられた裁判(イオン開発許可)は

### 3月29日に判決が言い渡される



高橋 達夫

**問** 町は裁判の結果について、どのように予想しているか。

**答** 町の主張が認められ、原告の訴えを退ける棄却、または原告不適格の却下を考えている。

**問** 町が敗訴した場合の対応は。

**答** 判決を不服とし上訴するか判決を受け入れるか二週間以内に判断する。

**問** 今度の町長選挙はこの裁判の原告と被告になっている。

従ってこの裁判の結果は選挙に大きな影響があると思う。もし町が裁判に負けて原告が選挙に勝った場合、裁判は取り下げると考えられる。その場合町はイオンから多額の損害賠償を請求される可能性がある。そのような事は考えられないか。

**答** 仮に開発許可処分が違法性を訴えている町長候補者が当選した場合、上訴は取り下げると想定される。開発許可処分が取り消された場合、イオン側から損害賠償を請求されることが考えられる。

**川角駅周辺整備事業の進捗状況**

について

**問** 12月議会の答弁では川角駅の整備について私の提案である北口も残すが、南口も開設する方向で町は東武と交渉すると言うことだが、その進捗状況について東武との交渉における町が感じた感触は。

**答** 東武鉄道としても北口を残し南口の自動改札の開設の問題については町とスピード感を持って取り組みたいと言っている。今後東武と連絡を密にし南口開設について進めたい。

**問** インクルーシブ教育は。

**答** 障害の有無に関わらず互いを理解し学び合う。助け合いの実現に向け努める。

**物価高騰について**

**問** 高齢者に対する支援は。

**答** タクシー券の配布などの買い物支援。間接的ではあるが、介護サービス事業者支援など。

**問** 子育て世代の支援は。

**答** 保育所の給食副食費の保護者負担2分の1やこども医療費の補助など。

## 本町の目指す未来は

### 環境を生かした都市基盤をつくる



平野 隆

**問** 10年後20年後の町の姿はどうなっているのか伺う。

**答** 一つ目として、里山の環境を生かした都市基盤をつくる。自然や環境を生かし公共交通の

確保、快適な住環境の整備をす

すめ社会情勢に対応した町づくりを目指す。二つ目として、活力と夢のある産業の町をつくる。

**問** 町には市街化調整区域があるが、将来的に市街化区域に編入する考えはあるのか伺う。

**答** 現在、町内には具体的な見通しがたつ地域が無い。

**問** 高速道路の看板について

圏央鶴ヶ島インターの案内

看板に鶴ヶ島・越生とあるが、毛呂山の名前が入っていない。

**問** ネクスコ東日本の選定については、人口や観光性を総合的に判断するということ。

**答** とても曖昧な判断基準と思われる。町は本気で要望する気はあるのか本気度を伺う。

**問** 毛呂山の町名標示に向けて、関係機関にも呼びかけて参る。

**問** 教育について

**答** 本町の児童生徒の学力は。七段階のレベル設定において、小中ともに県平均より一段階低い現状。学力向上に努める。



次世代に夢のある町を



昨年6月にオープンしたイオンタウン毛呂山

## 出生率低下は喫緊の課題

**答** 今後も継続し、責務を果たしていく



澤田 巖

**問** 出生率が低下していることの結果は、40〜50年後に、きわめて深刻な問題になり手を打つべきであり喫緊の課題の一つ。毛呂山町では独自に結婚支援イ

ベントを開催、その結果は。

**答** 町の重要課題である人口減少や少子化の要因になっている未婚・晩婚化の改善を図る目的で開催、出会いの場を創出。定員を超える申込みがありカップル数は5組となった。

**問** 町のホームページによると対面式の婚活イベントであったようだ。現在ではマッチングアプリで結婚するカップルが13%

いるとの調査結果がある。イベントの反省点などは。

**答** 事業の周知期間については改善の余地があると考える。広報もろやまやSNS等を駆使したが、ある程度余裕をもった周知期間を設ける必要性を感じた。参加者のアンケートも取っておき評価検証を実施していく。対面式イベントは好評であった。

**問** 今後、人口減少・少子化の解消に向けての結婚支援の取組についての展望は。

**答** 町内の民間企業や各種団体で構成している婚活支援ネットワークを軸に町として実施できる事を着実に進めていくことが自治体としての責務。令和5年度以降も継続し、より効果的な方法を検討していく。

### 河川等の汚染対策

**問** 川の汚れを表すBOD数値が基準より上回っていた(汚れていた)河川は。

**答** 葛川2号橋下流の1か所がわずかに上回っていた。

**問** 汚れた原因と対策は。

**答** 現在は環境基準値を下回っている。年4回水質検査を実施。BODが高い理由や原因を突き止めている。

## 国民健康保険

**答** 令和5年度の税率は引き上げない



牧瀬 明

**問** 今回の国保制度は1961年にスタートし、保険料に事業主負担がないことなどのため……どうしても相当額国庫が負担する必要がある、とした。が19

84年の法改定で、国保への定率国保負担をそれまでの総医療費45%から38・5%に削減した。

国保加入者は農林水産業は4割超、自営業で2割から3割だった。2020年度は年金生活者(無職)は43%、非正規労働者33%、農林水産業者2・3%、自営業は16%だ。

国保加入世帯の平均所得は1990年度は240万円、20

20年度は136万円と減り続けている。

国保税には事業主負担がなく被保険者の人数に応じてかかる均等割など健保にはない賦課の仕組みもあるため、もともと他の医療保険より負担が重くなっている。

**答** 従来の国民健康保険制度は市町村単位だったが、医療の高度化、加入者の高齢化などにより医療費が増加し、国保財政運営が厳しい状況が続いたので、平成30年度から国保運営を都道府県単位とした。が国保料(税)は各市町村で独自に決め

る。毛呂山町の現在の保険税率は標準保険税率となっていないため不足分を基金で補い令和5年度の税率を引上げないこととしている。しかし、税率改正は引き続き検討していかなければならないものと考えている。



国民皆保険を担っている国保の充実を



男女の出会いの場の創出を!

**健幸づくりのまち宣言の記念行事は**

**ウオーキングコースの設置等**



村田忠次郎

**問** 健幸づくりのまち宣言がなされるが、「記念事業」をお考えか。

**答** 町は、埼玉医科大学との連携による健幸ウオーキング事業

**問** 環境整備を実施する。

**答** やウオーキングコース設置等の川のまると再生事業で整備した遊歩道や鎌倉街道上道も入れたらいかがか。

**問** 自然や歴史的な文化遺産に触れるコースも検討する。

**答** 安全対策、休憩等の配慮は。安全性を考慮したコースを設定し、安全対策や休憩場所も記載したマップを作成する。

**問** 期待される成果は何か。

**答** 健康寿命の延伸、医療費の抑制、町の活性化などのメリットがある。また子どもたちの規則正しい生活習慣の実践など、全ての世代が健康で幸せを感じるまちづくりを推進し、毛呂山町全体の魅力向上に繋げたい。

**問** 休憩所たる公園のベンチや水道の修理についてはいかがか。

**答** 公園や遊具の整備は計画的に行う。

**問** 財政面から見て4小学校を残せるのか

**答** 4校建て替え、大規模改造の工事費はいくらか。

**問** 建て替えて64億円。大規模改造工事34億円。この費用を捻出できるか。

**答** 国庫補助金を活用する。

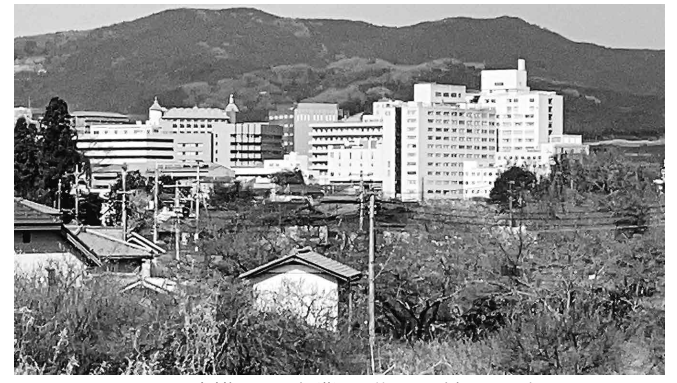
**問** 再検討委員会でスクールの必要性について意見があったが、町の方針は示されていないか。

**答** これから教育委員会として検討する。

**問** 児童館は、毛呂山中学校区にも設置すべきではないか

**答** 毛呂山中学校区への児童館設置の考えは。

**問** 設置が理想と考える。



町と連携して事業を進める埼玉医大

**子育て支援センター内で児童を預かる事業の効果は**

**非常に使いやすかったという言葉をいただく**



小峰 明雄

**問** 給食の質や量を維持する為、民間保育所等への補助事業は。

**答** 7月5日迄に459万円を支出。非常に効果が、あったものと認識している。

**問** 連続110回・通告数884問目の一般質問。令和4年度の教育行政全般について、教育長のご所見は。

**答** 学習内容の確実な定着、保護者から信頼される教職員の育成に努めた。各体育館にWi-Fi環境を整備するなどICT教育の充実に努めた。町立図書館では、昨年10月より電子図書館サービスを開始した。

**問** 自動体外式除細動器の使い方を見学する。小学5年生は心臓蘇生法などを学び、中学2年生はマネキンを使った授業を行っている。

**問** 医療と福祉の地域ケアが整った、まちづくりは重要と考える。以前に一般質問した生涯活躍のまちづくり（日本版CCR）のご見解は。

**答** 将来的な医療費負担や介護支援などの財政的負担等が課題。

**問** 住所地特例制度で財政負担の課題解決と考えるがご見解は。

**答** 介護保険に施設入所する場合に従前の住所地を保険者とす

る仕組みがある。先進地の取り組みについても鋭意調査・研究をして参る。

**問** 医療と福祉のまちの推進には町と埼玉医科大学グループとの連携強化は非常に重要。副町長のご見解は。

**答** これまでの経験を生かし、私が連携のハブとなり更なる連携強化を図る。

**問** もろバス利用者の利便性向上にバス停留所の間隔とフリー乗車の制度導入は。

**答** バス停留所の設置箇所を精査し、フリー降車の地域を中心に今後鋭意検討。



更なるきめ細かい子育て支援を

## 今後の小・中学校のあり方を再検討

教育委員会では教育をめぐる課題を解決し、より良い教育と教育環境を充実させるため未来を拓く人づくり（小中一貫教育）プロジェクト基本方針を策定し、「望ましい小中学校施設のあり方は施設一体型校舎」としました。

その開設年度は令和2年3月策定の公共施設個別施設計画において、川角中学校区は令和8年度、毛呂山中学校区は令和10年度とし、それぞれの中学校区に二つの小学校を集約することを目指すこととしました。

一方、平成30年度のプロジェクト基本方針の策定以降、教育を取り巻く環境は大きく変化しました。ここ数年の新型コロナウイルス感染症の流行、きめ細かな指導を可能とする指導体制と安全・安心な教育環境を整備するための小学校の35人学級が段階的に導入されるようになりました。

このため教育委員会では、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、施設形態や時期などを総合的に再検討することが適当であるとして教育委員会が策定する予定の今後の小・中学校のあり方（案）の参考とするため、「毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会」を開催し意見を頂きました。

第1回～第4回の検討委員会の会議録等が閲覧できます。



## 全員協議会

### ◎庁舎外壁改修事業

毛呂山町公共施設個別施設計画（長期保全計画編）に基づき、築後42年経過した役場庁舎を今後40年長寿命化を目指し維持管理を踏まえ改修事業を進めるもの。

### ◎総合公園体育館屋根及び外壁改修工事

築後34年を経過した体育館は雨漏りが数箇所にわたり発生しており改修するもの。指定緊急避難場所等にも指定されており今後約50年使用できるように考慮した改修内容となっている。

### ◎鳩山町からの川越都市圏まちづくり協議会への加入申し入れ

令和5年2月10日に鳩山町から正式加入申込書が提出された。正式加入は令和6年4月1日を目的とし連絡調整中である。

川越都市圏まちづくり協議会（通称レインボー協議会）について



## 表彰

令和4年度全国町村議会議長会自治功労者（在職27年以上）

小峰 明雄 議員

## 人事

人権擁護委員

有山 道春 氏

昭和29年2月生  
毛呂山町大字葛貫

## 傍聴席

### 3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
3月 1日(水)	0名
3月 2日(木)	26名
3月 3日(金)	33名
3月 6日(月)	6名
3月 7日(火)	1名
3月16日(木)	24名
合計	90名

## あともがき

2022年ぶりとなる天皇の譲位に伴う改元となった【令和】。2019年5月1日から始まり早いもので丸4年の歳月が経過しました。

【令和】とは、「人々が美しく心を寄せ合う中、文化が生まれ育つ」など、きれいな言葉で国民にも世界各国にも受け入れられやすい標語であると考えます。しかし実社会では令和2年、世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスが日本国内で初確認され東京オリンピックが1年延期となりました。現在では賃金の伸びを物価の上昇が上回り家計や企業活動への影響は深刻さを増して【令和】の意味とは真逆の社会状況が続いています。新年度こそは【令和】の意味通り、美しい心を寄せ合い美しい社会を実現したいものです。

澤田 巖

### 編集委員

委員長 千葉三津子  
副委員長 澤田 巖  
委員 下田 泰章  
平野 隆  
佐藤 秀樹  
荒木かおる  
アドバイザー（議長） 小峰 明雄